

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS

2

1975 FEB. NO.140

550メイト 第2弾 V70/70D/オートマチックV50A 新発売



大地をもっと知るための50cc。新発売。TY50

太平洋を背に 蔵王の山波をのぞむ



SUGO

5月オープン



東北一の大都市、仙台市から南に30キロ。宮城県柴田郡村田町の緑多き別天地に世界でも初めてといわれる総合モータースポーツランド「菅生」が、いま着々と完成されつつあります。ロードレース、モトクロス、トライアル、カートなど、多彩なモータースポーツ施設に加え、サイクルスポーツや散策道、ホテルなど、210万㎡の広大な大自然を舞台にのびのびと憩い、プレイを楽しみ、心からのレジャーを満喫できる「菅生」は5月オープンです。太平洋を背に、蔵王の山波を一望できる「菅生」は東北の新しい名所の一つ。みなさまの積極的なご活用をお待ちいたします。



ロードレースコース・コントロールタワー



モトクロスコース・コントロールタワー



カートレースコース・コントロールタワー

菅生

SUGO

ヤマハ発動機株式会社

宮城県柴田郡村田町大字菅生字猪石6-1  
PHONE 022483-3111(代)☎989-14



'75ヤマハフレンド店新年総会

# 多難な年に 決意も新たに

「1975YAMAHAフレンド店新年総会」は、1月12日の四国大会を皮切りに、15日は九州、17日は大阪、20日は東京、21日は名古屋、25日は仙台、28日は北海道と、各地で盛大に開かれました。

不況とインフレにあえぐ経済情勢にもめげず、フレンド店の皆様とヤマハとが一体になって、需要の創造に、二輪車の価値の創造に真剣な努力をつづけ、安定した成長を遂げていこうと、決意も新たに、おだやかなうちにも熱気のみなざる新年総会でした。

# き。安定成長への努力を誓い合う

大阪



最優秀販売店の表彰を受け、満場の拍手をうけるフレンド店のみなさん

ヤマハ発動機大阪支店管内のフレンド店新年総会は一月十七日、大阪ロイヤルホテル・ロイヤルホールに、五百三十人へのぼるフレンド店の皆様が参集して、はなばなしく幕を開きました。

ヤマハ発動機役員等の紹介にひきつづいて、取締役社長小池久雄が「高度成長の夢がくずれた日本経済の中で、二輪車は社会的に見直される客観的条件を備えた商品であり、フレンド店の皆様とヤマハが一体となって努力すれば、安定成長は可能と思う。ヤマハは体質の合理化を一層推し進め、とくに市場の重点商品については、売りやすい価格の維持に努める。フレンド店の皆様においても、需要の創造や代替需要の促進などを通じて積極的に商圏を拡大する要素は、現在でも十分にあるということ強調したい」と、力強く挨拶しました。

ついで表彰式に移り、大きな拍手がわき上る中で、最優秀賞、優秀賞の皆様に、小池社長から賞状や記念品が贈られました。

場内に音楽が流れ、ステージ正面のスクリーンに1975 YAMAH Aのタイトルがうつし出されます。スライドによる二輪車業界の現状と見通し、そして今年の活動方針。新春に贈る期待のニューモデル群としてヤマハトライアルシリーズの紹介に移ると、ファンファーレと共に幕が上り、「TY50」、「TY125」が、はじめて、その美しい姿を現わします。

そして、ニューヤマハメイトシリーズの登場。場内は興奮でざわめきます。

ひきつづき、ヤマハ発動機営業部長小宮功が壇上に立ち「新年度営業政策」を発表、同時にフレンド店の皆様の商圏拡大を要望しました。

ヤマハ発動機大阪支店長渡辺敏は「市場責任と計画販売について」データをあげながら講演。多難な局面をフレンド店の皆様と力を合わせて前進することを誓いました。

フレンド店総会の終了後、会場を光琳の間に移して、新年懇親会の開幕です。

山口県の山本モータース社長、大阪府の高橋モータース社長、そしてヤマハ発動機取締役上島清介が、威勢よく酒だるの鏡をぬくと、兵庫県の今井商会社長の音頭で乾杯です。

桂三枝、芹洋子など人気スターによる演芸や福引会が行なわれる中で、なごやかに時が過ぎていきました。

# ニューモデルの発表に興奮のどよめ



「ほーこれがニューメイトか」とフレンド店さんの熱い視線を浴びるV50D、V50



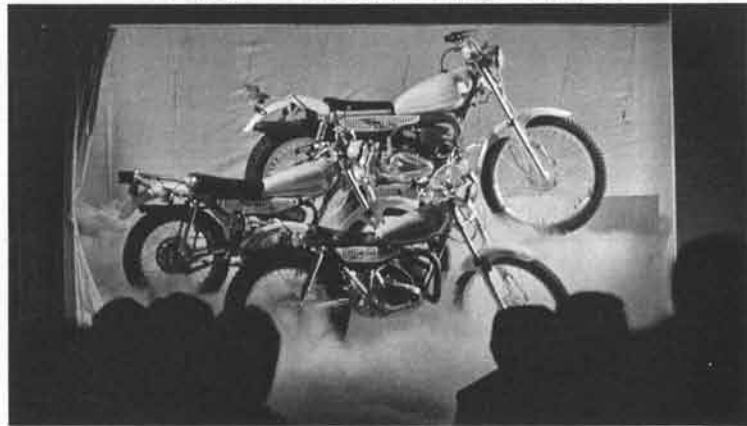
今年の商売繁昌を祈って景気よく鏡開き



支(えと)にちなんで今年はうさぎのように、ホップ、ステップ、ジャンプとゆきましよう



関今井商会さんの音頭で乾杯して懇親会の幕開きです



期待のTY50とTY125が加わって、充実ぶりを見せたヤマハトライアルトリオ



## ヤマハは今年 二十周年を迎えます

皆様、明けましておめでとうございます。昨年は、石油ショックが引き金となったインフレや不況が深刻化し、かつてわが国が経験したことのないような激動の年でした。

現在もおなじ、この状態はいぜんとしてつづいております。先行き、見通しを含めて、困難な昭和五十年であるだけに、今日、こうしてフレンド店の皆様にお集まりいただき、本年の商戦を語り合うことは、時宜に適したすばらしいことと存じます。

ヤマハ発動機も本年は丁度、二十周年に当たる年になっております。

今日まで二十周年の歳月には、いろいろな困難なこともいくつかございました。

また、皆様方にも、いろいろとご協力いただき、今日の会社になってきたわけでございます。

当社の売上げ等も、年商にいたしました二千億という数字の基礎をようやくかためることができたわけであります。

フレンド店の皆様のお力ぞえ、ご協力、ご理解によるものと、心より厚く感謝し、お礼申上げたいと思っております。

## 大きな転換期に立った

### 日本経済

本年の商戦というものは、なかなか環境も厳しく、また、いろいろな意味で不安定な状

態であることはご承知のことと存じます。

ただ、はっきりいえますことは、かつての日本経済の高度成長というものが、消費の面にしても、施設につきましても、会社の設備投資にしましても、拡大基礎の中においてなされてきたということです。すべて拡大というところに焦点をおくことに、考え方が集約でき、そこを基本といたしまして、いろいろな商戦の出発点として展開できたわけでございますけれども、本年は、すでに、そういう状態は、いつてみれば過去の神話に属するようになります。

卒直に申上げればかつての高度成長時代にやってきた仕事、考え方、これの裏返し、今後の日本経済の基本的なあり方になつてきたわけであります。

再びこの高度成長時代を夢見て、会社のことにつきましても、商売の展開につきましても、人の採用のことにつきましても、そうしたことを考えることが、根本から変化をきたしている。いつてみれば、転換期に立った、ひとつの経済の状態であるわけであります。

## 市場に密着した地道な努力を

不況の中にもありましても、インフレの中にもありましても、二輪車の絶対需要というものは、僅かに数パーセントの減少はございましたけれども、一般産業界の実情と比較いたしますと、微少な需要の減少にとどまっているわけでございます。

燃料費の問題をはじめ、いろいろな状況の中にありまして、こうした業界全体としての姿としましては、皆様方のご努力によって、

非常にいい状態であったといえるのではないかと思います。

しかし、本年も同じような状態であり得るかどうかについては、保証することはできない状況であると思われれます。

従いまして、本年は当社にとりましても、どこにか地道な、市場に密着した考え方の中におきましても、派手な予想は出来ない。着実に各ユーザー層と密着し、需要をつくりながら、進んでいくべきだと考えております。

そうした中で、本年もまた小排気量の車に、より中心がおかれると思いますが、こうした過程の中で、いろいろなものを考えていきたいと思つている次第です。

## 激しい商戦の展開を予想

いずれにしましても、この業界全体としては、決して派手なことが必ずしも時代の姿に合わない年でありまます。その反面、二輪車は年間百万台ぐらいの線で、数年にわたって安定した成長を遂げてきているわけですが、こうした姿を継続させることができれば非常にいい状態であろうと思われれるわけでありまます。しかし、この内容を考えてみますと、安定成長時代においても、シェア競争は相当激しいものを予想しなければならぬだろうと思つております。

とくに昨今、二輪業界全体が、対米輸出において、非常に困難な問題をかかえています。もちろんヤマハにおいても、そうしたひとつの世界的な変化、世界的な不況の中においての国内市場というものを考えてまいります。各メーカーとも、相当な設備能力を持っています。各社それぞれの設備能力の中におい



て、その経済的な効率を考えていくように考えております。

必然的に、どこかにその販売の焦点が当たってまいることが当然なことでございます。そうした商戦の時期が、この国内において、本年、相当激しく展開されると想像しているわけでございます。

当社にとりましても、皆様ご承知のように昨年は資材、人件費を含めて、相当な上昇をきたしましたけれど、少くとも市場展開の中において、フレンド店の皆様方がより売りやすい条件、消費者にとっても格安な、求めやすい条件を維持するため、昨年はメイトクラスにおきましても、値上げを相当我慢して参りました。

さらにコストの合理化問題などを通じて、コストの低減に努力を払い、今回発売のはこびになりましたニューメイトにつきましてもとくにスタンダード関係につきましても、よそさんに比べて、品質に劣らないものを、価格に安くして、ユーザーにとって求めやすい条件を満たしてきたつもりです。

### 合理化体質でコストを低減

本年の商品計画の中で、コスト問題、即ち価格問題につきましては、とにかく、何にも増して重要な問題でございます。

現在、資材はかならずしも上昇関係ばかりではございません。品物の値段を上げれば、商品が売れなくなるという既成の事実、これは、すでに昨年、自動車の方で決定的な姿で市場が減ったことは、新聞などで、皆様方、ご存知のとおりで、その他の商品につきましても、それに近い現象が見られています。

当社の場合には、仕入れを含めまして、工場関係をはじめとする合理化体制の推進を、相当な意識をもって行ないました結果、少しでも安い価格をもって市場に、皆様方に売りやすい条件をつくり得たという考えを持っております。

しかし、ここにも我慢の限界がございます。まして、全ての商品をそうするということが、むしろかしい時代でございます。

とくに市場の重点商品になっておりますものについて、こうした考え方もあって、本年も大いに頑張つて参りたいと考えております。

また、昨年も扱って参りましたプロジェクトもフランスからの輸入品ということで市場や価格、製品構成などを含めて、いろいろ問題もありません。高級車として、ヤマハらしい取扱商品のひとつとして、皆様の商圏拡大の中でご利用いただければ、大変有難いと思っております。

### 社会的に見直される二輪車

本年の商戦は、まことに厳しくなるわけでございますが、石油問題というものが、少なくとも現在の状態のままでは考えられませんが、いろいろむずかしい問題が数多く出てまいると思っています。

そうした中で、この二輪の商品の見直しというものが起ってくるでしょう。一般のおそらく安定成長の時代において、石油価格が上ってくる状態の中で、二輪の商品というものが、レジャー関係、スポーツを含めて、今後非常に大きな見直しを社会的にされる客観的な条件が沢山あると思えます。

従来、皆様方にお願ひしてまいりました需

要創造的な免許教室、モトクロス教室等の活動を含めて、着実に市場の中に、ユーザーと密着しつつ、仕事の発展を期していきたいと願っているものです。

さて現在、日本の二輪車の保有は約九百万台でございます。この九百万台のうちの相当なパーセンテージが、代替による需要という状態にあるわけでございます。こうした代替需要を含めても、現在国内で百万台の二輪車が売られています。少なくとも九一年間に一サイクルという計算になるわけです。

もう少し、これはテンポとして早くしてかかるべき性質のものと考えます。

全体の市場の状態を考えたとき、メーカーとしても、フレンド店の皆様としても、より活発に市場を把握し、販促活動、店舗のPR等を含めて、積極的にご商売をやり得る要素を十分持っているということを、この際、もう一度申上げておきたいと思うわけです。

いずれにしましても、本年は不安定な経済情勢がつづき、二輪車業界においても、激しい商戦が展開されることでしょう。人件費もまた上るでしょう。経営的にも決して楽なものではないけれども、反面、国際的な石油の事情を考えれば、二輪車の将来は非常に安定的に推移する要素を持っています。

昨年から本年にかけて、これだけ経済情勢が不況の中にあっても、なおかつ、従来の販売台数を維持できる客観的な事実。これを、ぜひ真剣に考え、そうした状態を今後とも保てるよう、ヤマハと共に、一緒になって頑張つていただきたいと、かように考える次第でございます。

本年も皆様方のなお一層のご発展をお祈りいたします。

楽しさ満開! バイクでワッショイ!

# 春の ヤマハ まつり

花の種プレゼント実施中

「春のヤマハまつり・フラワーキャンペーン」  
がスタートしました。

春の需要期にタイミングを合わせて打ちだ  
されたこのキャンペーンは、積極的にご商売  
の拡大を図る販売店さまをヤマハがバックア  
ップさせていただくものです。

キャンペーンの中心は「花の種プレゼント」。  
種類はコスモス、朝顔、百日草、ひまわり、  
サルビアの春まき用五種。来店くださったお  
客さまへの記念品に、あるいは訪問時の粗品に  
いろいろとお使いいただけます。

そして、ご覧のように各種のツール類が用  
意されています。

ニューメイトをはじめTY50の登場など、  
オールヤマハ車のラインアップはますます充  
実しています。お店をこのキャンペーンの基  
地として、そしてお店独自のアイデアを盛り込  
んで春の商戦をリードしてください。

YAMAHA





### ●「花」を咲かそう

お店で、訪問先で、チラシと一緒に、投げこみで。あるいは糸でつないでお店の飾りにもなる花の種の袋。プレゼントした方の住所氏名をひかえて後日の訪問に役立ててください。



### ●「キャンペーン・ワッペン」を胸に

お店のみなさま全員が胸につけ、卒先してこのキャンペーンを盛り上げてください。



### ●「ポスター」「チラシ」を活用しよう

A 全ポスターはフラワームードいっぱいの「春のヤマハまつり」と「ニューらくらくメイト新発売」のもの。B 4 チラシは話題のニューらくらくメイトを配しました。いずれも催事案内、店名など入れる余白があげてあります。



### ●「のぼり」を立てよう

店頭にずらりならべれば効果絶大。不況ムードも一掃です。遠くからも目につき、お店をひときわ印象的に飾る「のぼり」です。「春のヤマハまつり」と、このキャンペーンの主役「ヤマハメイト新発売」の二種類があります。



### ●「連続旗」でお店をかざろう

春のヤマハまつりの主役をつとめる「ニューらくらくメイト・新発売」の連続旗。店頭に、催事会場の飾りつけにご利用ください。

新しいお客さまをお店に  
好評の「原付免許教室」

「らくらく点検サービス」  
お客さまの信頼を増す——

「展示即売会」  
お店をアピール  
買う気を起す展示即売会

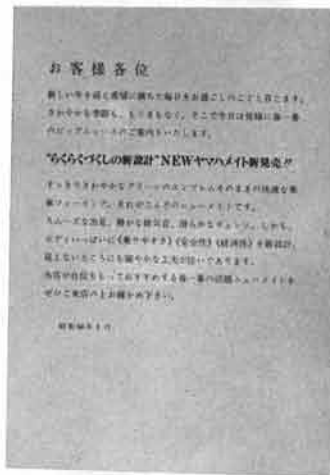
このほか、「らくらく点検カード」も用意してあります。そしてこれらのツールをもとに、①原付免許教室 ②らくらく点検サービス ③展示即売会を柱として、お店独自のアイデアを盛り込み、春

の商戦をリードしてください。担当のヤマハマンは、あなたさまと一っしょいになって考え、お店を応援させていただきます。



### ●「PRタッグ」を利用しよう

余白にお店の名前を刷りこんで、店頭や駐車場にある旧型バイクにかけてください。花の種プレゼントは誰にも好かれるはずですよ。



### ●オートマチックPOP

初心者の人にはとくに好評なオートマチックメイト、オートマチックチャビィに取付けて、オートマチックのらくらく操作をPRしてください。



### ●「DM」で効果をあげよう

お店の催事をご案内するハガキ、ニューらくらくメイトのA3六つ折り封筒の二種類のDM（ダイレクトメール）があります。お客さま名簿から、この人はという方に。奥さま宛にも差出してみましょう。



### ●「アンケート」に答えてもらおう

お店に見えられたお客さま、あるいは催事に参加して下さったお客さまから、アンケートに答えてもらいましょう。アンケート用紙は名簿づくりに役立てください。



### ●「ニューメイト」たばこをどうぞ

ニューメイトを刷りこんだPR用のタバコ（チェリー）です。この一服から商談の糸口も生れます。



「春のヤマハまつり」に合わせて、原付免許教室を開いてください。免許教室ならヤマハです。販売店さまご自身が講師となることで新しいお客さまとの対話が生まれます。

会場にはニューメイトをはじめチャビイやミニなど50ccバイクを展示しましょう。受講者のリスト作成など、アフターフォローには細かな神経をお使いください。



安全を売るヤマハ——。キャンペーンの一環として「らくらく点検サービス」を実施してください。社会的にもきわめて有意義な「らくらく点検サービス」は、店頭や展示会で実施することで、代替需要のお客さま方を知ることができます。点検作業終了には、点検カード作成を、そして気付いたことをちよつと一言つけ加えてください。



用意したポスターや、連続旗で店頭を明るくムードで飾り、メイトを中心とするオールヤマハの展示会は道ゆく人びとの足を止めます。そして事前の告知DMは、代替需要のお客さまはもとより、見込客の誘導から導入までキャンペーンには不可欠のものです。

展示車には特長と値段を明示し、美しく磨きあげて見やすく配置してください。

# 大地をもっと知るための50cc— 「ヤマハトライアルTY50」発表 試乗会を開催



新しい50ccバイク「ヤマハトライアルTY50」が、2月1日を期して新発売となりますが(カラーページ参照)、1月13日にはこの「TY50」および「ニューらくらくメイト」について専門誌紙記者、二輪ジャーナリストの諸氏を招いて発表・試乗会を開きました。

本社側からは早川技術企画課長、中村第三設計課長ほか関連部門の担当者が出席、商品開発の意図を説明、また試乗後にはその印象をもとに有意義な話しあいを行いました。

記者団の多くは「TY50」につよい関心をむけていましたが、内容を一段と高めて乗車フィーリングを一新した「ニューらくらくメイト」にも、試乗後には多くの話題が生まれました。「TY50」についてはトライアル車としての適応度、「ニューらくらくメイト」についてはチェーンジョックのなさ、低・中速時のパワフルさに取材の目がむけられていたようです。

なお「ヤマハトライアルTY50」の開発意図について大要左ページのような技術的な説明がありました。



新商品を業界記者団に紹介。有力商品の「ニューらくくメイト」に加え、新登場の「TY50」は、トライアルの普及に力を入れるヤマハの大きな商品構成をつくりだすものだ。

## ストリート走行を主体にトライアル車の特徴を付加

「TY系列の商品として、どこまでトライアル車としての性格づけを徹底するか、技術部としていろいろな検討もあったが、やはり50ccという範ちゅうにある商品であることからストリートモデルとして考え、これにトライアル車の特徴を組込んだものとした。

したがってこの「TY50」は、RD50やMR50と同列にならぶもので、けっしてトライ

アル本位の競技重視型のものではない。ごく

ふつうの使い方、たとえば通勤、通学、商用にも充分に使える性能をもたせている。この点だけをとってみれば一般型の50ccバイクということになるが、ハンドルバー、燃料タンク、シート、タイヤにトライアル車の特徴を取り入れており、ここに「TY50」独自の新しい乗り方、楽しみ方が生じている」

## 抜群の乗りやすさと、ゆたかなファッション性

「トライアル車の機能としては、とくに乗りやすさの面でけんちよである。初心者の人でもらくに乗りこなせる点で「TY50」は抜群のよさがある。これは低速向きのエンジンおよびギヤレシオのセッティングのほか、巾広くコントロールしやすいハンドル、らくに足が地につく低位置シート、スリムで乗りや

すい車体構成、安定のよい一二五cc級なみのタイヤサイズの採用など、いわゆるトライアル車の機能の採用によるもので、この点で「TY50」の新しい個性がつけられた。

またこの個性は、全体のスタイルやカラーリングと共に、「TY50」をファッション性ゆたかなものとしている」

## 充実した安全装備で大地をもつと身近なものに

「いっぽう安全面では、大型灯火類をはじめキル・スイッチを装備、フートレストは折りたたみ式としてブレーキペダルと共にすべり止め防止のギザをつけるなど充実させた。

そのほか最低地上高を二〇〇ミリと大きくとったほか、点火プラグキャップを完全防水式とし、エアクリナーケースも防水性を考慮した特別設計のものとしてトライアル風の

走りにそなえ、小物入れをつけた横開き式のシート、標準装備のキャリアと共に走りの世界を大きく広げたものとしている。

いわばこの「TY50」は、特有の乗りやすさと、適用範囲の中広さとして、初心者はもとより中級者を含めて、大地をよく知るための50ccとして完成させたものである。

「TY50」の試乗会で、記者団の関心もこのほか高く、はやくも有力商品の声が……



すべてにスムーズさを加え、乗りやすさ、静かさ、経済性で一段と向上したニューメイト

# ニューらしくらくメイト第2弾として

## 「ヤマハメイトデラックスV50ED(セル付)」

## 「ヤマハオートマチックメイトV50A」

## 「ヤマハメイトデラックスV70D」

## 「ヤマハメイトV70」が新発売です

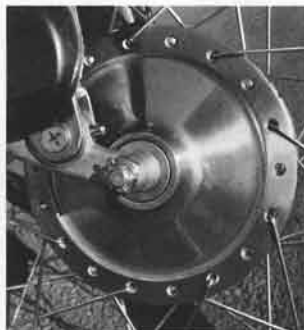
乗りやすさにプラス高い安全性、さらにすぐれた経済性で絶大な人気をもつ主力商品のメイトが、前号でもご紹介いたしましたように、エンジン、クラッチ、フレーム、ハブまわりなど全面的な改良を加え、一段と耐久性を増し、音や振動の減少による総合的な乗車フィーリングを高めて新発売となりました。

すでにお店にお届けされている「V50D/V50」によってもお確かめいただいているように、基本的な外觀構成こそ目立った変化はありませんが、その内容はまさに一新しており商用をはじめ通勤、通学用はもとより、日常の生活の足として巾広い需要層にご満足いただける商品として仕上げてあります。

●冷却フィン的大型化によるねばり強さの向上(70cc車はアルミシリンダー採用) ●低・中速域での出力アップ ●チェンジシフトの解消(V50Aを除く) ●排気音・振動の減少 ●フレーム構造・フートレスト取付、キャリア支持、ハンドルグリップ等の強化 ●ブレーキペダル、チェンジペダルの安全性向上 ●フラッシュヤールンブ大型化(V70D)と右スイッチの採用—ほか前号カラーページをご参照ください。



オイルタンク容量は、1.2ℓ。新設のオイル点検窓の中位のところで1ℓの補給ができる親切設計



フロントハブの車軸部にはダストカバーを追加し、ハブベアリングの耐久性を一段と高めた



セル付のメイトV50EDのエンジン部。電装は12Vシステムで、バッテリーは12V7AHを採用

項目	V50A	V70D<V70>
全長	1840mm	1840mm
全巾	645mm	645mm
全高	1005mm	1005mm
シート高	730mm	730mm
軸間距離	1170mm	1170mm
最低地上高	130mm	130mm
乾燥重量	75kg	75kg <74kg>
舗装平坦路燃費	80km/ℓ (30km/h)	85km/ℓ (30km/h)
登坂能力	20°	20°
最小回転半径	1800mm	1800mm
制動停止距離	7.5m (35km/h)	7.5m (35km/h)
エンジン	2 サイクルリードバルブ	2 サイクルリードバルブ
気筒数・排気量	単気筒・49cc	単気筒・72cc
内径×行程	40×39.7mm	47×42mm
圧縮比	6.6:1	6.8:1
最高出力	4.5PS/6000rpm	6.2PS/6500rpm
最大トルク	0.54kg-m/5000rpm	0.70kg-m/4500rpm
始動方式	キック	キック
点火方式	フライホイールマグネト	フライホイールマグネト
燃料タンク容量	4.5ℓ	4.5ℓ
オイルタンク容量	1.2ℓ	1.2ℓ
潤滑方式	分離給油(ヤマハオートループ)	分離給油(ヤマハオートループ)
バッテリー容量	6V4AH	6V4AH
バッテリー型式	6N4-2A-2	6N4-2A-2
発電機種類	フライホイールマグネト	フライホイールマグネト
発電機型式	F11-L43(日立)、F000-B00171(三菱)	F140-07(日立)

項目	V50A	V70D<V70>
点火プラグ型式	B-6HS、M46W	B-6HS、M45W
キャブレター型式	VM14SC	VM15SC
エアクリナー型式	濾紙式	濾紙式
一次減速(比)	ギヤ(—)	ギヤ(3.143=66/21)
二次減速(比)	チェーン(3.076=40/13)	チェーン(2.923=38/13)
クラッチ	湿式内拡張鐘式	湿式多板自動連心式
変速機	—	3段ロータリー/リターン式併用
変速比1速	3.250=39/12	3.250=39/12
変速比2速	1.812=29/16	1.812=29/16
変速比3速	—	1.200=24/20
副変速比1速	3.250=39/12	—
副変速比2速	2.187=35/16	—
フレーム型式	プレスバックボーン	プレスバックボーン
キャスト	63°	63°
トレール	80mm	80mm
タイヤ寸法(前)	2.25-17-4PR	2.25-17-4PR
タイヤ寸法(後)	2.25-17-4PR	2.25-17-6PR
ブレーキ(前後)	機械式ドラム防塵防水式	機械式ドラム防塵防水式
懸架緩衝方式(前)	ボトムリンクオレオ	ボトムリンクオレオ
懸架緩衝方式(後)	スイングアームオレオ	スイングアームオレオ
ヘッドランプ	6V15/15W	6V25/25W
テール/ストップランプ	6V3/10W	6V3/10W
フラッシュランプ	6V8W	6V8W
マーカーランプ	6V5W	6V5W
パイロットランプ	6V3W	6V3W

乗りやすさで人気高まる

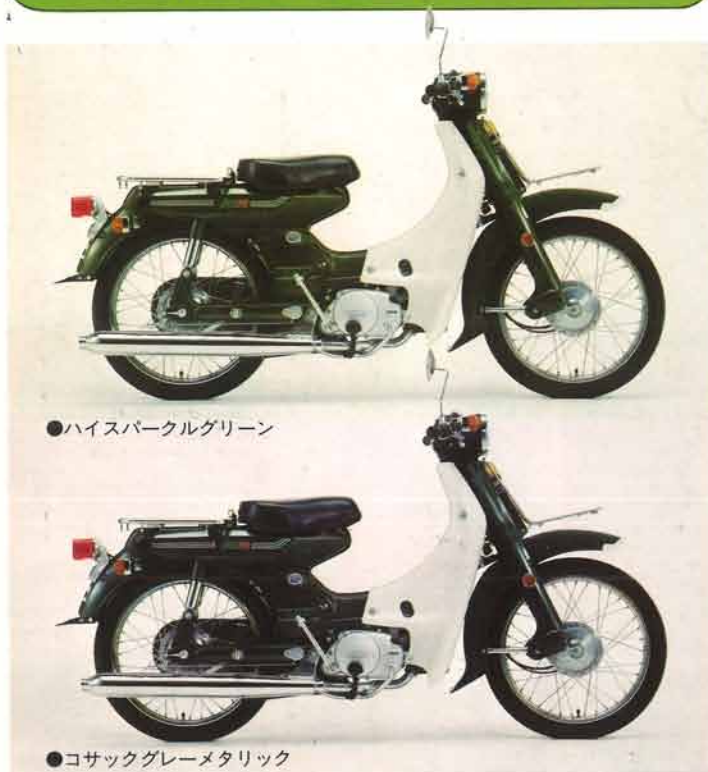
第2弾

# ニューらくらくメイト 新発売

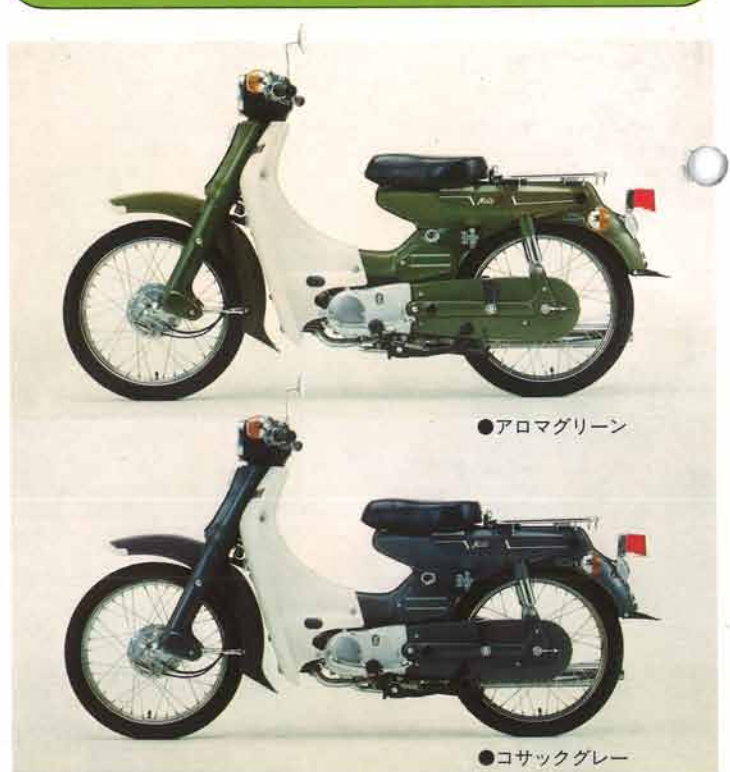
## ヤマハメイトオートマチックV50A



## ヤマハメイトデラックスV70D



## ヤマハメイトV70



上記車種のほかセル付の50ED(ハイスパークルグリーン)も新発売です。

# 0c.c.。新発売。TY50

## TY50

エンジンはTY250..にない、ス  
あるもの。市広いハンドルバ  
して125cc級なみのタイヤ寸  
とおりなす乗りやすさは絶  
らくに足が地につき、歩くよ  
に50ccバイクの新風を感  
め手です。



ヤマハ50のスポーティバイクに、新しい個性をもたせた新車「ヤマハトライアルTY50」  
が加わりました。  
車名からもお分かりいただけるように、本車はいま急速に人気を高めているトライアル  
に関連した新型で、その特徴は50ccバイクのストリートモデルにトライアル的な走行性能  
を加味し、ファッション性もゆたかにまとめあげたものです。大地をもつとよく知るた  
めの50cc、これが「ヤマハトライアルTY50」のキャッチフレーズ。新風の50ccバイクの  
登場です。  
これでヤマハ50のスポーティバイクは、スポーツタイプのRD50、トレールタイプのM  
R50、そしてこのTY50と、よそには見られない充実した商品ぞろえとなりました。へ天気  
のよい日はバイクに乗ろうを合言葉に、バイク・シーズン幕開けのセールスが一段と強  
力におすすめられます。販売店のみなさま、どうぞよろしくお願い致します。



操縦性のすぐれた幅巾  
のハンドルバー。右グ  
リップ部には緊急停止  
用のエンジン・キルス  
イッチを設けている。  
燃料タンクキャップは  
ブリーザーパイプつき。

リムな車体構成。ブレ  
キペダル、折りたたみ  
フットレストはギザ付。



横開きロック付のシー  
ト。ツールはシート裏  
に支持され、小物入れ  
も装備。フレームは剛  
性の高いパイプのダブル  
クレードル。サブキ  
ャリヤは標準装備。



ピストンリードバルブ式  
のエンジンはRD50、M  
R50と基本的には大差な  
く、サービスは容易。エ  
ヤクリナーケースは防  
水性を考慮した特別製。



キャブレターのセッティ  
ングを変更、エンジン性  
能は低・中速域で使いや  
すさを増した。また点火  
プラグのキャップは完全  
防水型を採用している。



# 大地をもっと知るための5

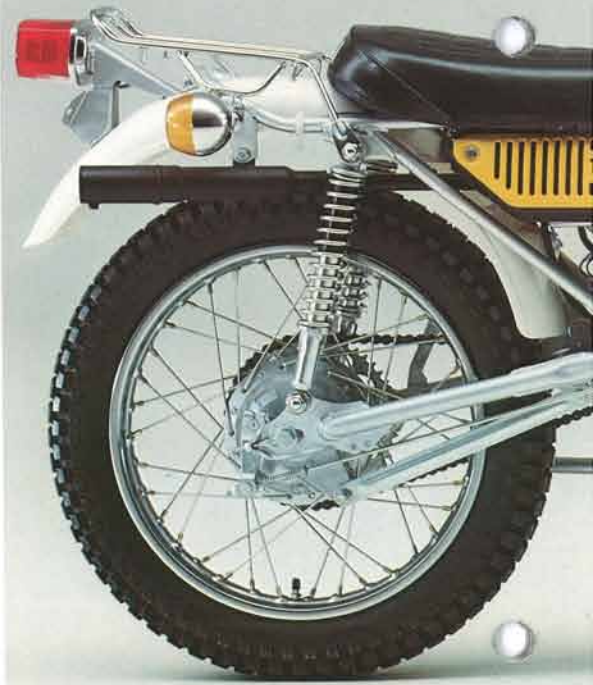
## ヤマハトライアルTY50主要諸元

全長	1800mm
全巾	775mm
全高	975mm
シート高	705mm
輪間距離	1190mm
最低地上高	200mm
重量	71kg
請求平路速度	80km/h (30km/h)
登坂能力	20%
最小回転半径	1800mm
制動停止距離	3.5m (20km/h)
エンジン	2サイクル・トルクインダクション
気筒数・排気量	単気筒・49cc
内径×行程	40×39.7mm
圧縮比	6.9:1
最高出力	4.0PS/8500rpm
最大トルク	0.38kg-m/6800rpm
始動方式	プライマリキック
点火方式	マグネット
燃料タンク容量	4.7ℓ
オイルタンク容量	1.2ℓ
潤滑方式	分離給油(ヤマハオーヤルーフ)
バッテリー容量	6V4AH
バッテリー型式	6N4A-4D
発電機種類	フライホイールマグネット
発電機型式	FJ1-L47 FOT0012
発電機メーカー	日立製作所 三菱電機
点火プラグ	CB-7HS(NGK)
キャブレター型式	VM68SH
エアクリナー型式	モトプロ
一次減速(比)	ギヤ(68/19=3.578)
二次減速(比)	チェーン(48/12=4.000)
クラッチ型式	湿式多板
変速機型式	5段リターン式
変速比1速	39/12=3.250
変速比2速	34/17=2.000
変速比3速	30/21=1.428
変速比4速	27/24=1.125
変速比5速	25/26=0.961
フレーム型式	ハイダブルクレードル
キャスト	61
トレール	101mm
タイヤ寸法(前)	2.50-18 4PR
タイヤ寸法(後)	3.00-16 4PR
ブレーキ(前後)	機械式ドラム防塵防水式
懸架緩衝方式(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝方式(後)	スイングアームオレオ
ヘッドランプ	6V15/15W
テールストップランプ	6V3/10W
フラッシュランプ	6V8W
ハイロッドランプ	6V3W



## ヤマハトライアル

■TY..スタイルにプラス鮮やかなカラーリング。全体のデザインに、軽く、そして乗りやすさをおおいに盛りこんだ格調一(775mm)、低いシート高(705mm)、大きい路面間隙(200mm)、法(2.50-18/3.00-16)が低・中速性能重視のパワーユニットです。バイクは初めての人にも、すでに乗りなれた人にも、遅いスピードでもなお安定したコントロールがきく乗りやぶることでしょう。これがTY50の売りどころとして最大の



ブレーキは前後輪ともヤマハ特許の防塵防水式。前輪フォークはセリアーニタイプを採用。ユニバーサルトライアルのタイヤは125cc級なみの寸法。

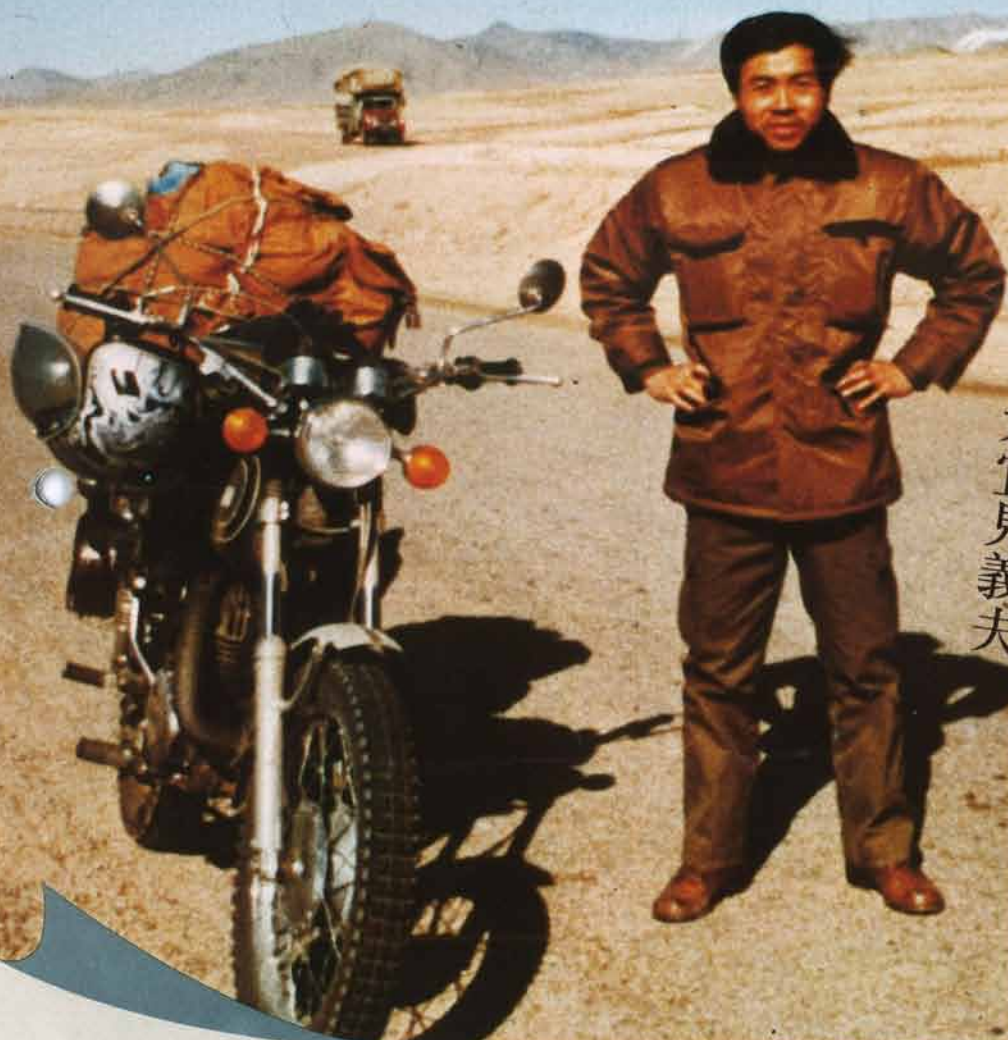
リアのクッションユニットは5段調節式。マフラーのテールは長く、外側にもむけて設置されている。



19カ国、93日間、2万3000キロの旅

# バイクで走った ユーラシア大陸

医学博士 大宜見義夫



トルコの内陸部、アナトリア高原の岩塔住居。それぞれの奇怪な岩塔が住居になっている。



標高2000mのヒンズクシー山脈の山越え。気圧の変化でさすがのDT250もあえいだ。



ギリシャの二輪車販売店でポイントとキャブレターの整備。なんと料金をサービスしてくれたうえに夕食までごちそうしてくれた。

アフガニスタン・ガズニーに近い砂漠の道路で。後方のトラックは故障で放置されたもの。

古代中央アジアとヨーロッパを結ぶ「シルクロード」をバイクで訪ね、この通商路にまつわるさまざまな物語りのあとを追うと同時に、各国における風俗、習慣と医療にたずさわる実体をさぐったお客さまがいます。

沖縄県那覇市に生れ、名古屋大学医学部を卒業、現在北海道美幌町立国保病院小児科医長をつとめる医学博士・大宜見義夫先生(35)がその話題の人。二年におよぶ準備期間の中には各種のデータ収集と並行して、朝夕で四時間をこえる山野走行を試み、転び方まで練習したとか。

そして選ばれたマシンは「ヤマハトレールDT250」です。出発は昨年の二月二十二日。インドを起点に、ユーラシア大陸十九カ国二万三〇〇〇キロを九十三日間で独走その貴重な体験記は地元紙「美幌新聞」に好評連載中であるほか「文芸春秋」誌にも一括掲載される予定で、話題を呼んでいます。これは本誌記者のインタビュー・レポートです。

## 周到な用意に プラス熱意の成果

「元来、だだっ広いのが好きな私は、途方もない砂漠の広がりやを一人で独占して駆け巡るという夢をもっていたのです。それも四輪車のように閉ざされた乗物ではなく、肌でしかに大気にふれられるもの。それには馬かバイクしか考えられなかった。まさか馬では実現しそうもないし、バイクがつくり出す走りの世界には以前から共感するものがあつたので、AT1やRT360などの乗車経験からもやるならバイクと決めました。

どちらかという、私はせっかちなタイプですが、やみくもに目的に向ってつっ走るといふほうではなく、行動を起すからには、またその行動をつづけていくうえで、あらゆる角度からの集中力を働かせて行かないです。今回の旅行も、決行をきめてから準備期間

に二年の年月をかけました。この間に各国の政治、治安、気候、風土、風習、道路、宿泊施設、日本製バイクの普及度、ガソリンスタンドの分布状況などの旅行状況を調べ、この状況にマッチしたバイクの選定と、補強改造を考慮し、所持する品物も厳選していきました。例えば固形燃料の一回使用量の重さまでも確めたものです。

パスポートやビザと共にカルネ、国際登録および道路地図などを含め、各種のデータは書物を主体に、各国大使館、外務省、海外の友人、知人、航空会社、船舶会社、旅行者、外国の税関、オートバイメーカー、自動車連盟、海外旅行経験者など、多岐にわたって行ないました。

ライディングテクニクについては、この旅行を成功させるためのものもとても重要で、もつとも基本的なフアクターのため、その習得についてはデータ集めと平行して徹底的に行ない、朝夕で四時間以上も連日山野を駆けまわりました。転倒の練習も行ないましたが、

これは失敗でした。日本は左側通行ですが外国は右側、だから左側に倒れたのでは道路の中央に放り出されることになるからです」

## オイルショック にもめげず出発

「使用バイクにDT250を選んだのは、山野の走行性、耐久性、取回しやすさ、それとバッテリーなしでも走れる簡便さを考慮して決めたものです。新車はちょうど五〇〇キロ試験走行し、この車に関する最終データをまとめました。それより以前に、整備・修理に対する技術を近くの大島自動車商会(フレンド店)さんの大島義之氏宅を毎日のように訪ねて、手ほどきをうけました。

DT250についての改造は、サイドスタンドおよびキヤリヤの補強、2個のスペア・タンク装着、さらにエンジンの潤滑を分離、混合両方式を容易に切替えられるように工夫考案してもらいました。

まあ、こうしたことで未成熟に残っていた夢が風化せず、一日一日と実現に向っていったわけですが、これは時間をムダに過ぎないやろうと思つたら絶対にやる、これで例え寿命が十年ちぢまってもいい。テクニクが駄目なところは慎重さでカバーしよう……という、あらゆる集中力を働かせて目的に向う私の性格によるものでしょう。

こうした準備の大半が終りかけた頃、いわゆる石油危機が勃発し、旅の中止におびやかされたのですが、さしものオイルショックも一応の安定化が図られ、パスポートから重取り粉まで、すべての用意が整い、二月二十二日、美幌駅の駅頭に山内町長をはじめ諸先輩友人、多くのみなさんの暖かい激励をうけて雪の美幌をあとにしたのです」

## 苦しかったが 収穫も大きかった

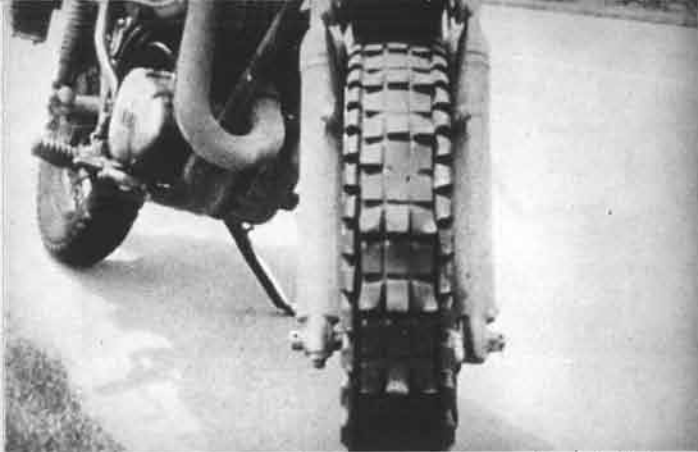
「コースはインドを起点にパキスタン、アフガニスタン、イラン、トルコ、ギリシャ、ブルガリア、ユーゴ、オーストリア、イタリア、フランス、スペイン、スイス、ドイツ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、スウェーデン、デンマークの十九カ国で、終点はドイツのハンブルクです。

旅行中の生活は、朝の七時から八時頃から夕方五時頃までは走りっぱなし。強盗にも会えば、国境警備隊に警告をうけたり、こわい思いもしたいっぽう、土地の人の歓待をうけたり、遺跡を見学したり、楽しいこともありました。だいたい山岳地の辺境などところが危険でしたが、街中は親切で、中央アジア、中東の人々との接触にドラマを感じました。

困ったことといえば、風呂に入らず、洗たくが思うように出来なかつたこと。緊張の連続で、いろいろな病気がかりました。食物の関係で、下痢と便秘にも悩まされましたが、なんといつても歯痛にはまいました。

それでもとにかく走り続けました。そしていま思うこと、それは自分ながらも、よくぞ走つた! ということです。

体力というものは自分が思うほどいつまでも若くはいられない。だからこそ、これはと、思う心に描いた夢を風化させたくなかつた。結果としては、ロマンに満ちた冒険旅行からほど遠く、生易しいものではなかつたけれども、「これが男の一生」といったものを濃縮して過せたこの三カ月のバイク旅行は、これからの人生に、多くの収穫をもたらしたといふことができます」



2万km走行時の前輪タイヤ。これであと3000kmも走ったとは!



バイク旅行の沢山のスライドを説明する大宜見先生。家庭にあっては一男一女のよきパパであり、よき夫である。右後は洋子夫人で、左はフレンド店大島自転車商会の大島社長。

みなさま

# チャピィの、あの二人連れです

## チャピィLB50-II・A "ゆっくりりずむの全国行脚" ③

佐納たか子  
久田英子



信頼の「ヤマハ・メカ」に、徹底的な点検をうけるチャピィ（前橋）

### 走行1万3000Kmのメンテナンス

久田 英子

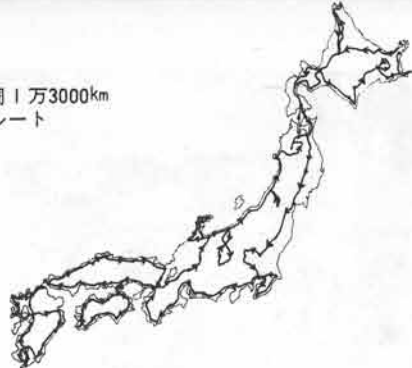
佐納たか子

- 5,653km: アクセルワイヤー、リアクッション右、共に交換
- 6,348km: ポイント交換
- 8,209km: メインジェットを#100→#120へ交換
- 11,105km: メーターワイヤー交換
- 11,283km: チェーン交換
- 12,339km: メインジェットを#120→#100へ戻す
- 12,371km: ブレーキワイヤー交換
- 13,496km: 後輪タイヤ交換

- 3,424km: 後輪タイヤがバンク
- 5,003km: ポイント交換
- 7,600km: 後輪タイヤがバンク、チューブ交換
- 8,186km: "
- 11,674km: バッテリーがサルフェーションを起し、バッテリー交換
- 11,828km: チェーン交換
- 12,884km: 後輪タイヤ交換

右表が今回の主なメンテナンス箇所ですが、何ととっても各支店・営業所において、頼もしいメカニックの方々が、すべて事前にチェックしておいてくださるので、私たちはただ「乗せていただいて」いるだけ。でも、たった一度だけ、ほんとうに困ったことがありました。

日本一周 1万3000km  
の走行ルート



加藤商会北支店の主任をつとめる館屋氏は工大出身のエリート。が、ご自身が道内一周ツーリングを3回もしている経験者だけあってマシンに対する愛着もひとしお。お客さまもちょっとうるさい方が多いとか(札幌)



こちらは奥さまがチャビィの宣伝係として大活躍の共和商会さんです(宮崎)



チャビィなどレジャーバイクにことのほか意力をそそいでおいでの板井モーターズさんでは、チャビィ談議に話の花が咲きました(大分)

それは、日光いろは坂をスイ〜登って、ゆつくり日光見物をした後、さて期待の金精峠(日本のほぼ中心部だというのに、一年のうち半分は通行不可能だという、雪の深い峠なのだそうです)という所で、これより六千余キロも以前にしていただいたポイント交換の際、脱落していたスピールの支障と同時に、こいていねいにも私が峠の途中で念のため交換したプラグの碍石が一センチ余り、ストーンと落ちて、点火の役目を果しておらず、マシンはうなりばかり大きくて一向に進んではくれない、私はとうとう、エッチラ・オッチラ足で漕いで金精峠を越えたものでした。これはひとえに不運だったといえるでしょう。

### ありがたい皆さま すばらしいバイク旅行でした

今回の旅のパートナー・久田嬢の方は、これが初めての経験ですから、マシンの取扱いもしごく、ていねいな上に、荷物が私の約半

さを改めて認識させられることになりました。今回の旅の一つの目的、「人情探訪」の意味からも、このトラブルは決して苦い経験ではありませんでした。負けおしみではなく、むしろこういうハプニングがあつてこそ触れられる、「人情」ですし、それ故のバイク旅行ですから――。

分。それに比べ、私の方はRD350で鍛えられた(?)のみでなく、元来が乱暴で粗忽なせいもあり、おまけに予備ガソリン・オイル・バッテリー少々……と、大欲張りして荷物が二十キロ余。そのせいかどうか、坂道にさしかかつて苦勞するのはたいてい私の方。いくども彼女に「うちのんと違つてよかつたワノ」と安堵のためいきをつかせたものでした。

が、やはり、もともとがタウンバイクを使つての長距離走行。のみならぬウエイト・オーバー。マシンのオーバーヒートを責めては設計者に気の毒というものです。

ヨーロッパではプラグが湿りっぱなしで、そのために、たびたびプラグ交換を強いられたものでしたのに、皮肉なことに今回は、毎度毎度、プラグはまっ白。雨の坂道というところ決つてストップしたヨーロッパに比べ、今回は快晴の日に限つてのことで、雨降りの肌寒い日にはむしろ、プラグは快調。快晴の山路にマシンを止めてプラグを交換するくらいのこと、お安い御用。これ幸いと足を止め、

「チャビィ・レディ」の若奥さまがおいでの上、  
宮商會さん。活氣あふれる店内でした。



潮風に吹かれ爽快な波打ちぎわ（能登）



「ゴーゴージャマハ、キャンペーンに全力投球のアズマ自動車商會さん。左の風防つきチャビィが東社長の愛車です。



「チャビィはよかノ」と断言し、着々とシェアを広めている神戸モーターズさん（鹿児島）



バイクロジィについてのいろいろと役立つお話を熱っぽく展開された志野原商會さん（旭川）

周囲の自然をもう一度ゆつくりと楽しんだものでした。「プラグ交換もまた、楽し」です。ところで、今回の旅では、すいぶん多くの販売店さん、ユーザーの方々、はてはガソリンスタンドの従業員さん達にいたるまで、実に沢山の方々から支援をうけました。心からお礼申しあげますと同時に、バイクの旅の楽しさを多くの方々に知っていただきたいと考えている次第です。

## 〈天気の良い日は バイクに乗ろう〉

今回は家人たちに「今度事故を起すのは久田さんじゃなくて、あなたよ」といわれ出てきたのですが、案のじよう——やりました。二度も路面にアゴでブレーキをかけてしまったのです。けれども、路面に叩きつけられ目の前にいくつも星が消えては現われる体験をしてもなお、「よーし、やろうか、一生オートバイに乗ろう」と思ったのですから、オートバイの魅力とは不思議なものです。

だいたい今回の二度の転倒は自業自得。大型バイクに馴れ、少々自信を得ていたところへ、まさしくオーバーウエイト、そしてお節介にも常にバック・ミラーが気にかかり、足元おろそか。——後について来る久田嬢の方は、いとも沈着に悠々自適だというのに——。

思いがけなくも深い傷を残した二度の転倒でしたが、その割には本人ケロリ、一向にこりてなどいず、相変らずチャビィに乗って買物・友人宅訪問……エトセトラと「チャビィ様々」の毎日を送っています。

「FINE DAYS

ON

YAMAHA!!

私の実感です。

# “うちの二世は名メカニック”

大阪市大正区南恩加島町二の十七

光商会 大本静雄社長・二男泰史やすふみくん



大本泰史くん。大阪は大正区の南恩加島小学校へ元気に通う5年生だ。毎日、三時ごろ、学校から戻るやいなや、お母さんの曾子むすこさんが、泰史くんのために精魂こめて縫いあげたツナギに着がえ、さっそく、お父さんの静雄さんが働く「光商会」の店先にとび出す。





「僕も早く乗りたいナ……」きまっているこのポーズ。さすがというところです。



「えーと、ドライバー、ドライバー……」ご自慢の工具がびっしりつまった工具箱を横に、整備技術のウデ前をみせてくれる泰史くん。

## ◆好きこそものの上手なれ

泰史くんが修理の仕事を手伝いはじめたのは二年生のとき、バンク貼りだった。それからというもの、修理のため、お店に次々と持ち込まれる自転車やオートバイにつよい興味を示し、お父さんがする修理を横でジッと見ていたという。

一年もすると、お父さんのする修理の手順に従って、手術の時の看護婦さんのように、必要な工具を次から次と、それも間違うことなく、静雄さんに差し出すほどになった。半完成品として光商會に納められる自転車の組立でも、いつの間にか完璧に覚えてしまったという。

## ◆一般修理は完全にマスター

だれの強制によるものでなく、まったく自発的に次々と高度な修理を覚えていく泰史くんは、二年ほど前から、静雄さんは本格的にメカについて教えてやるようになった。

30年に三級二輪、32年に二級二輪及び三輪、37年に三級四輪及びガソリン、38年には、二級ガソリンの整備士免許を取得し、ことメカにかけては、引けをとらないと自負する静雄社長。サービスマニアルを参考にした、このお父さんの厳しい指導にも泰史くんは弱根をなくことなく積極的な態度でのぞむ。プラグテスター、エレクトロテスター、ポケットテスター、ポイントチェッカー、ダイヤルゲージなどの各種計測器具の使用方法を完全にマスター。変速機、キャブレターのセッティングやオーバーホール、点火時期の調整、充電チェックなど、クイックサービスはもちろん、一般修理もすべてできるようになった。それだけに泰史くんは工具にもうるさい。使いやすいものを、自分で業者に注文し、見





お母さんといるときはちょっぴりはにかんで……



我流をゆるさない“名メカ”の指導に真剣な泰史くん。



ボケットテスターも完璧に使いこなしてみせてくれました。



バイクの専門誌からいろいろな技術情報も解説してもらってます。

### ◆ 将来は大きな戦力に

事に取り揃えている。工具箱には鍵をかけ、他人には決して使わせないというほどだ。もちろん勉強のほうもきわめて優秀な成績だ。

「泰史には、早く、そして確実な修理」ができるようになるよう、サービスマニアルに基づいた技術の指導をしています。我流は決して許しません。

ときには、私の、ちょっとした間違いを、ズバリ指摘することもあり、私の方が勉強させられることもあります」

昨年の九月、今までの店舗とは別に、間口6間、15坪のヤマハ専門の新店舗を構え、オートバイの販売、修理にますます意欲的にとりくむ「光商会」さんにとって、泰史くんは自慢の息子さんであり、お客さまの「頼しいアイドル」である。

# ●ヤマハ大もちつき大会・東京・豊島園

世の中の不景気ムードを一気に吹き飛ばし新たな気持で新年をむかえようと、年の瀬もおし寄せまった十二月二十七日、東京地区のヤマハ販売店のみなさまが豊島園（練馬区）に大集合、威勢もよく「ヤマハ大もちつき大会」を開催しました。これは東京営業本部と城東・城南・中野・多摩の各営業所との共催で行われたもので、百五十店のお店が参加。家族同伴とあつて七百名を超えるお店の方々が集ったものです。

午前九時から午後五時まで借りきった会場には十八の臼が用意されての開始。東京という土地柄、「昔やったこともあるが……」とか「生れてはじめて……」という人が大多数を占めてましたが、やってみれば結構上手に出来るもの。ご主人奥さま、子供さんたちと入れかわりにトライ、二升もちをふた臼ずつ楽しくつきあげ、のしもちに、鏡もちにと仕上げました。



会場は家族づれなど、700名を越す参加者で大賑い、雰囲気も一段と盛りあがります



用意された18の臼からは、不況風を吹き飛ばすような「かけ声」と、キネの音がびびきわたります

# もちつき二題



園児ら総出のお迎え、これから始まる「もちつき」にみんなの顔も晴ればれとしました



「子供たちの楽しそうな様子を見て、来年もぜひ続けることにしました」……(谷田貝さん)

いっぽうこちらは、YRC（横浜ライダーズクラブ／代表・谷田貝健氏）が、恵まれない施設の子供たちに「もちつき」のプレゼント。これは同クラブがこれまで行ってきた交通遺児募金の一部をさいて行ったもので、十二月十五日の日曜日、YRC本部のある「オートショップ谷田貝」に12名のメンバーが集合、もちつきに必要な道具は車に積みこみ、各自がオートバイで目的の「子供の園（横浜市中区）」に向いました。

待ちうけていた28名の園児と共に、かけ声を合わせてつきあげた60kgのホカホカのもちは、可愛い小さな手でいろいろな形につくられ、またこの様子はNHKテレビより全国に放映されたものでした。

●みんなで楽しくもちつき会・横浜・子供の園

# ニューらくらくメイトの オプションパーツ

**新発売**



乗るほどに便利さが…。従来の特長を基盤として数々の新設計を盛り込んだ「ニューメイト」お店の主力商品としてのニューメイトをさらに売りやすいものとするオプションパーツが用意されました。どうぞご利用ください。



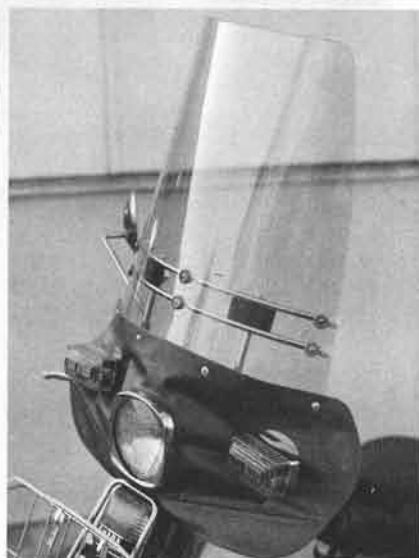
## ●強力サイドスタンド

新聞屋さんや牛乳屋さんなどくに荷物を積むお客さまや、ひんばんに発進や停車をくり返すお客さまにぜひおすすめください。強度と安定度を重視したワンアクションの強力サイドスタンド  
部品番号 90890-55047 ￥2,000



## ●フロントバスケットデラックス

おなじみのワンタッチ脱着と荷物おさえがついた「アイデア商品」です。日常の買物をはじめ商用にと広い範囲にご使用いただけるデラックス型のフロントバスケットです。  
部品番号 90890-55043 ￥1,150  
90890-55044(取付ゴム) ￥350



## ●風防

長時間メイトをご利用くださるお客様に不可欠のニューメイト専用風防です。強化アクリル製の風防は手元まで寒風をカバーする特別仕上げて、冬の安全運転に役立ちます。  
部品番号 90890-56614(デラックス専用) ￥4,200  
90890-56613 ￥4,200

“こんなこと、あんなこと”——日頃、販売や修理にいそがしいみなさまに、「あっ！私にもこんな経験や体験が……。」と、というような思いもよらぬ出来事や、奇想天外なお話などを拾い集め、誌面に紹介させていただきます。失敗や判断のまちがいが、日頃の研究や前向きな姿勢があればこそ、楽しい思い出となります。みなさまのご投稿を、お待ちしております。どうぞよろしく。



▲販売のよき理解者でもあり片ある奥さまの玲子さんと

▲高橋商店伊藤社員と談笑する長谷川さん。後方はお店のみなさん

# すえ広がり「8」の字です

新潟県新発田市豊町二丁目四の十一 長谷川輪業社長

長谷川 正吾

新潟駅から白新線で四十分。殺倉地帯の蒲原平野を背後に、下越の典型的な商業集積都市・新発田市があります。

ここでヤマハフレンド店「長谷川輪業」を営む長谷川正吾社長は、同市でただ一人の新潟県二輪車普及指導員でもあります。その長谷川社長が語る。あんなこと、こんなこと。

とは。

「ビッグバイクが出はじめたころ、高校生など若い人たちがお店にきて、ナナハンが欲しいということがよくありました。なかには親御さんもついてきて、ぜひ性能のよいやつを……なんてね。こちら商売ですので、売りたいのはやまやまですが、二つ返事でよいも

のかどうか、よくまよったものです。免許はもっているのだから、運転する資格はある。しかし、だからといってあきらかに経験不足と分かる人に、ビッグバイクを手渡すには私の良心がゆるせません。そこで考えたのが「8」の字移動です。自分の目の前でマシンのもとせ「8」の字をかかせてみせる。そのときの取回しでその人のキャリヤを判断しようというわけです。

こちらもだてに準指導員の肩書きをいただいているわけではありませんから、取回しの姿勢や移動の仕方、適、不適はすぐに分かります。それで、これでは無理だというお客さまには遠慮なく説得し、身体に合った大きさのバイクをすすめました。

中には噴然として店を出てゆくお客さまもいました。こんなときは辛かったですね。

でも、あとでこんな経験を何度かしています。中年の人がお店にとびこんでくるなり、主人はだれかといきなり私に握手を求めてきたのです。近所まで所用があつてきたのだが、一言お礼をいいたい。それは、自分の息子がこの店でビッグバイクを買うつもりであったが、店の人にまだ無理だからとさとされ、しゃくせんとなしにまにまに中型バイクにした。しかし、同期に免許をとり、ビッグバイクを買った友人からの話だと、なかなか性能本位に乗れたものでない——と。なかなか冷や汗をかいているという。ちよつとしたことでマシンを倒すのか、あっちこっち傷がついて新車の面影はないとか。

それにつけても、息子のほうはマシンにふりまわされることもなく、快適に乗って楽しんでる。初めはブツブツいっていた息子がいまでは満足している。よくあのとき息子を説得してくれました。そのお礼を一言いわせてもらいたくて……というように例です。

最初のころは、私もなにか複雑な気持ちでしたが、やはり良心にしたがつて商売はつづけていかなければならぬとつよく感じたことでした。ええ、そうしたみなさんは、いままもみなよいお客さまでおつき合ひしていただいでますし、まさに末広がり「8」の字です。」

# ユージョー登場

わが友、プジョー

埼玉県越谷市蒲生1-15-7

久保井俊明さん



記録更新に向ってGO!! 仲間と共にエランレーシングチーム代表の久保井さん



「プジョーはここが違う」とメジャーや分度器で証明してみせる久保井さんと関口さん(右)

## 今、求められる最高の自転車!!

プジョーユーザー久保井俊明さん。二十歳の大学二年生。第一の趣味が自転車で、第二に自転車でのタイムスピードという。その久保井さんが、発売と同時に飛びつくように購入したのが「PX10E」。

サイクルショップ「ナカバヤシ」の関口章さんは久保井さんを、「あえてマニアという言葉を使うと久保井さんは、品物の良否を研究と知識で判定できる『メカマニア』なんですヨ。こうした人を選ばれた自転車は大切にされます」——こうした言葉をつなぐように久保井さんは「現在、私が入れることができない最高の自転車といえば、ためらいもなく『プジョー』をあげます。今、僕は大宮の競輪

場で毎月一回、スピードに挑戦するタイム記録会に参加しています。四十八年の夏からこれまで、PX10Eは僕のトレーニングに耐えながら記録を更新してきましたが、普通ですと三回目くらいまでは記録が更新できても、乗り手の体力がフレームなど自転車の強度や性能を上まわってしまおうと、記録が停滞してしまふんです。ところがPX10Eは僕を他の人よりも早い時期で記録上位者にしてくれました。」

昨年、埼玉県体育大会で、久保井さんは早くも実用車クラスで二位という立派な成績をおさめました。話に熱が入ったところで、スピードという面からみたプジョーを久保井さんはこう評価しています。「フレームの強度ですが、これはスピードに最も大切なこと。ハイスピードでのコーナリングでは『ウィップ』というフレームのねじれが、がてます。このウィップが大きい自転車はまず不合格。その点で、『レイノルズ531』は僕のテストにも合格です。そして疲れないフレーム設計。シートチューブ角やヘッドチューブ角など、使用目的と使用条件をあらゆる方向から分析した『ハイレベルな設計』と思う。もう一つ、一級品と呼ばれるパーツの使用と交換パーツの豊かさは、いつまでもプジョーとつき合いたいと思わせますネ」

# 茶の間に話題の トライアルCF

おなじみ「天気の良い日はバイクに乗ろう」の軽快なリズムにのって、いまTBS（東京放送）系から放映されているのがトライアルの商業フィルム。いかに的確にバイクを操縦するか、トライアルはバイクのライディングテクニックを基本からマスターするものとしていま急速に人気をあつめているものです。

そしてヤマハは、このトライアルの普及を他に先がけてすすめています。「TY250J」につづいて「TY50」も登場。茶の間に新しい話題をつくるヤマハのテレビCFは、バイクの楽しさを広くひろめみなさまのご商売のお手伝いをしております。



天気の良い日はバイクに乗ろう

天気の良い日は バイクに乗ろう

作曲 小林亜星

きみがいてほくが、  
あいがありゆめがあ  
てり

ヤマハがあつて  
ヤマハがあつて  
てんきがよくてーなん  
てんきがよくてーなん

だかー  
だかー  
とてもしあわせ  
いつもごきげん  
さき

てんきの良い日は バイクにのろ

# Mon ami, わが友、プジョー。 Peugeot



きらびやかさはありません。  
多くを語るより黙々と走りつづけます。  
そこに花が咲けば立ちどまり、優しい人の心に共鳴します。  
プジョー。それはフランスに生まれ育った自転車。  
90年という歳月に耐え、磨き抜かれたものだけが持つ輝き。  
モナミプジョー。  
走りこむほどに、その良さがわかる  
くほんものの自転車です。

**PEUGEOT**   
プジョーフランス

ヤマハニュース2月号 ● 昭和50年2月1日発行 ● 発行所…ヤマハ発動機株式会社 〒438  
静岡県磐田市新貝2500 ● 発行人…小宮 功